

27PB-am001

ホマクチン類の合成研究

○中平 祐太¹, 齋藤 悠人¹, 岩本 大紀¹, 小清水 治太¹, 長岡 博人¹, 高取 和彦¹ (¹明治薬大)

【目的】 海洋真菌などから単離される phomactin 類は、ビシクロ[9.3.1]ペンタデカン骨格を母核とした興味ある化学構造を有するジテルペンである。今回ビシクロ[2.2.2]オクタン誘導体の環開裂により、高立体選択的に合成した **4** から炭素鎖を伸長して再環化する戦略で、phomactin 類の合成を目指した。

【結果】 (-)-Carvone より導いた **1** の連続 Michael 反応により得た **2** を **3** へと変換した。 **3** に対し、NaH を作用させると逆アルドール反応による環開裂が進行し、**4** を得ることができた。現在は、**4** より導いた **5** からの炭素鎖伸長および 12 位メチル基の異性化について検討中である。

